

# inochiのPay It Forward Week

Presented by



中外製薬

ロシュグループ

2025.6.26

2025.6.30

inochi's Pay It Forward Week



# 目次

プロデューサー紹介	03
開催概要	03
テーマ&コンセプト	04
<b>展示</b>	
LASTWORDS Archive	05
ペイフォワードの木	06
inochi Equity Heart	07
<b>イベント</b>	
前夜祭	09
オープニングセレモニー	10
いのちの対話Talk 1	11
いのちの対話Talk 2	12
いのちの対話Talk 3	13
LASTWORDS WS	14
i-GIP Voyage	15
Global Santa Night	16
Donate Your Run	17
いのちの対話Talk 4	18
クロージングセレモニー	19
協賛・後援一覧	20

誰かのいのちを想い、行動すること。  
それを、**inochiのペイフォワード**  
と呼ぼう。

私たちは、万博のテーマにもなっている「いのち輝く未来社会」の実現のためには何が必要なのかを考え続けてきました。

そんな中で、私たち自身が、多くの人たちに支えられていることに気づき、互いに支え合う「**共助**」「**互助**」の精神が、いのち輝く未来社会の礎となるのではないかと考えました。

ふと目を向けてみると、私たちの周りには、お互いのいのちを支え合う取り組みがたくさん存在することに気がつきます。

保険制度、臓器提供、献血、チャリティー、復興支援。

共助、互助には、困ったときはお互い様の精神があります。もしこれが自分だったらと想像し、少しでも役に立てるのであればと行動する。

このようにだれかのいのちを思い、行動することを「**inochiのペイフォワード**」と名づけました。

私たちは、万博で、未来社会の新たな「inochiのペイフォワード」の形として、一人ひとりの生き方が凝縮された言葉と、一人ひとりの生きる証であるヘルスケアデータを、誰かのいのちを守るために役立てる、「**言葉とデータのドネーション**」を提案します。

このドネーション体験を通して、多くの方が「inochiのペイフォワード」の重要性に気づき、行動に移すきっかけとなることを、強く願っています。

総合プロデューサー

寺本 将行

# プロデューサー紹介



総合プロデューサー

**寺本将行** Masayuki Teramoto

医師、公衆衛生学修士(MPH)。  
inochi未来プロジェクト理事。  
大阪大学医学部医学科在学中に、途上国での疫学研究を機に若者の力でヘルスケア課題の解決を目指すプログラム「inochi Gakusei Innovators' Program (i-GIP)」を立ち上げ、ボトムアップ型の予防医療の普及に取り組んできた。卒業後は、大阪大学医学部附属病院、世界保健機関(WHO)での勤務を経て、ハーバード大学公衆衛生大学院に留学。現在は、ノースウェスタン大学医学部のHealth & Biomedical Informatics博士課程に在籍し、循環器疾患や認知機能低下の新たなリスクファクターの解明、およびデジタルバイオマーカーの開発に取り組んでいる。

# 開催概要

Event summary

開催名称	inochiのペイフォワード Week ~Well-being for Well-dying~ Presented by 中外製薬		
日時	2025年6月26日(木)-6月30日(月) (テーマウィーク:健康とウェルビーイングウィーク 開催中)		
場所	ギャラリーWEST	入場料	無料
主催	一般社団法人inochi 未来プロジェクト / inochi WAKAZO Project		



ギャラリーWEST

提供:2025年日本国際博覧会協会

# テーマ&コンセプト

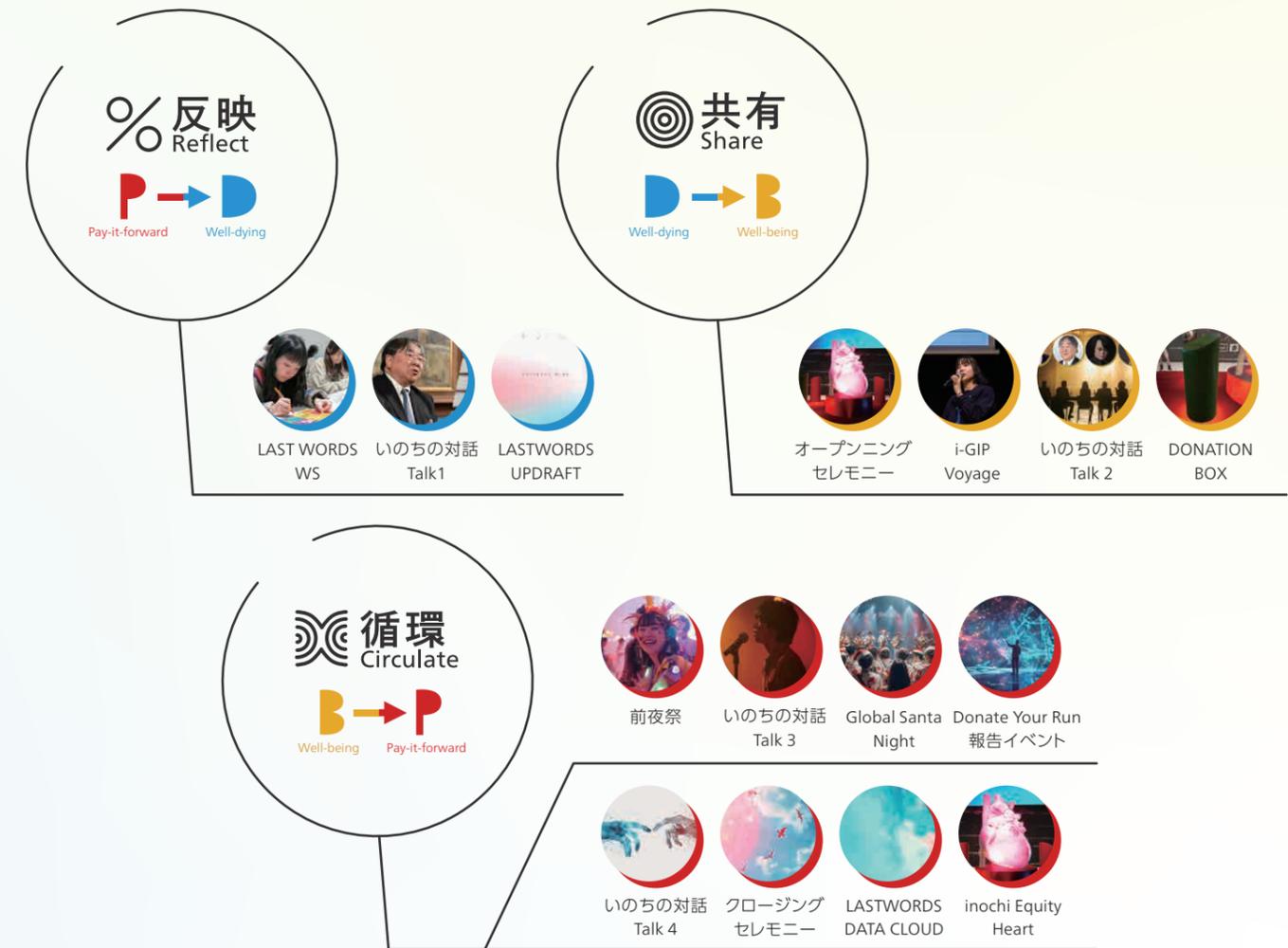
Well-being  
for  
Well-dying

Well-beingが叫ばれるようになった近年。

私たちは、生と隣り合わせの死についてちゃんと考えられているのでしょうか。  
死への真摯な対面を通して生を見つめ直すことで、私たちは良き”死”に向けた良き”生”を全うすることができるかもしれません。

「Well-being for Well-dying」というコンセプトを掲げて、死に向けての生・死を起点に見つめる新たな生を自らの中で発見する体験を提供します。

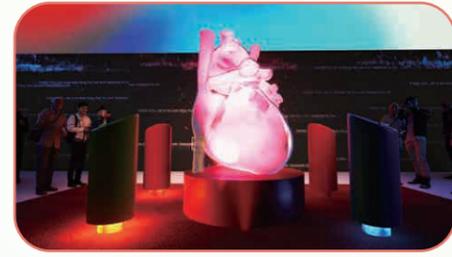
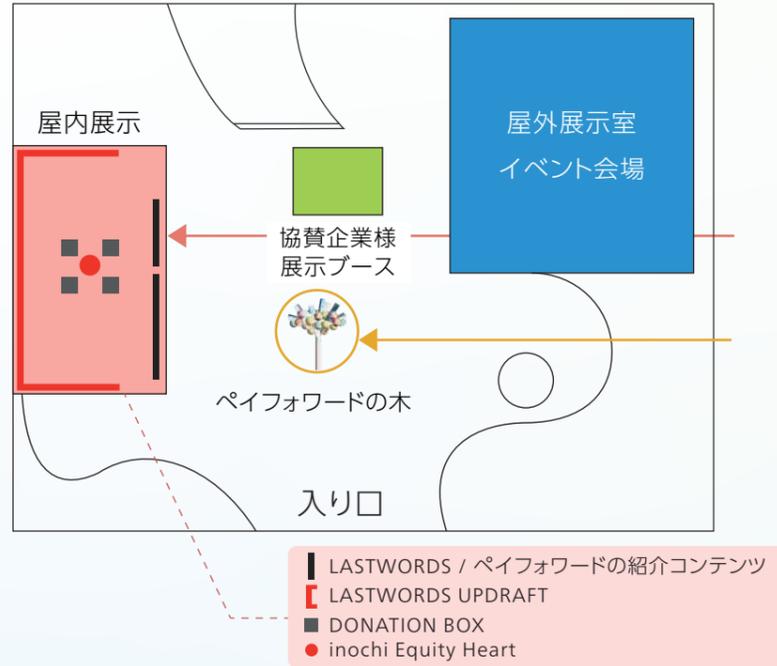
そして、その良き”生”が共助の精神で生み出す循環こそ「inochiのペイフォワード」だと私たちは考えます。



inochiのペイフォワードWeekでは、Well-being for Well-dyingのメッセージを土台にinochiのペイフォワードを体感していただくため、「反映」「共有」「循環」という3つのテーマに沿った展示/イベントコンテンツを展開します。

# 展示

inochiのペイフォワードWeek 展示設備全体



## ペイフォワードの木

ペイフォワードの木を彩っているのは、病気と闘う子どもたちが創ってくれたランプシェードです。小児病棟でのワークショップや小児在宅診療を通して、トリソミー、急性脳症、重度心身障害をはじめとする様々な病気と闘う子どもたちがランプシェードをデザインしてくれました。このツリーはみんなの作品が合わさってひとつの作品となることで「違う場所でも同じように病気と闘っている仲間がいる」というメッセージを伝えます。夜にはひとつひとつのランプシェードに光が灯ります。子どもたちの「いのち」や「個性」が、輝く様子をぜひご覧ください。

※当事業は公益財団法人公益推進協会「For Children基金」による助成事業です。



様々な人でひとつの作品を作り上げる「共創体験」の場をつくる  
 病気と闘う子どもたちが創るランプシェードがオーナメントとなる  
 「ペイフォワードの木」をつくる

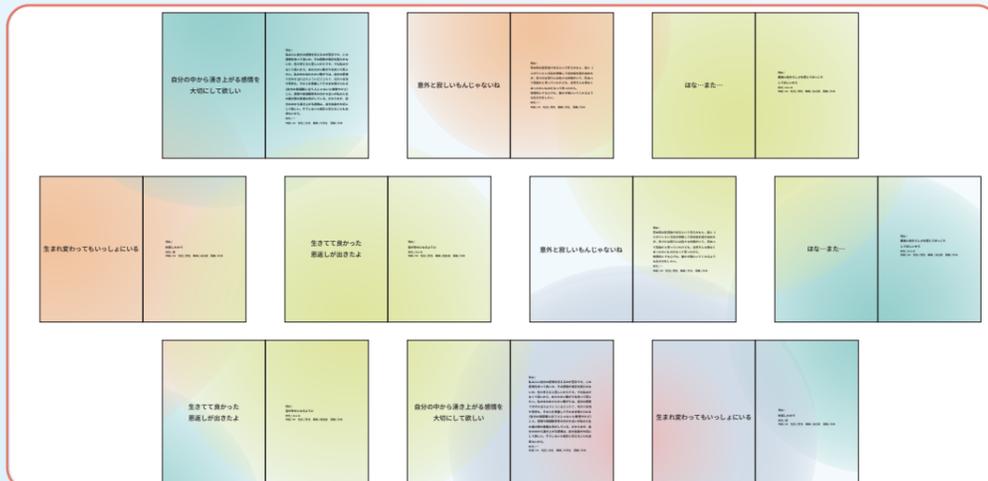
- ✓ ひとりひとりの「いのち」や「個性」が輝く様子が表現できる
- ✓ 万博で展示することで、より多くの方に見てもらえることができる

## LASTWORDS Archive

もし、人生の最期に言葉(LASTWORDS)を遺せるとしたら。

いのちの最期に訪れる静寂。その静寂の中でなお、輝くいのち。  
 いのちの終わりは、決して無に帰すものではありません。それは時を超え、見知らぬ誰かのいのちを照らす灯火となる。私たちは、この灯火こそ、未来へと続く「inochiのペイフォワード」、すなわち「いのちの恩送り」だと信じています。

LASTWORDS ArchiveはLASTWORDSが綴られた本を集めた展示です。  
 どうかページをめくり、その想いに触れてみてください。誰かが私たちに遺した言葉に触れ、私たち自身のいのちを輝かせませんか？  
 あなたの心に火を灯す、LASTWORDSへの出会いがここにあります。



病気と闘う子どもたちに、  
 心の動かされる体験をしてほしい。  
 色んな世界、可能性を感じて、  
 ワクワクしてほしい。

### 万博前

病気と闘う子どもたちが小児病棟などでランプシェードを作製する。  
 ▼  
 万博当日の参加者にとって見本のランプシェードとなる

### 万博当日

万博会場にて「ペイフォワードの木」をランプシェードが彩り輝く  
 ▼  
 子どもたちに届けるランプシェードを来場者の方に協力してつくってもらう

### 万博後

クリスマスプレゼントを届ける際にランプシェードを病院に届ける  
 ▼  
 万博に来ることが叶わなかった子どもたちにも輝くところを見もらう

# 展示

## inochi Equity Heart

inochiはみんなのもの。  
公平であるinochiが集まり、未来の資産に。  
いのち輝く未来社会がここから始まる。

一人一人のいのちの輝きが混ざり合い共鳴し、誰かのいのちに繋がる。  
そしてまた、そのいのちの輝きが新たな共鳴を生む。  
inochiのペイフォワードが実現するのは、そんな循環のカタチ。

「公平」と「資産」という意味があるEquityの名の下に、  
誰もが取り組むことができ、その資産が未来につながる、  
そんな体験を通して循環を表現します。

私たちの身体の中かで循環を象徴し、いのちの象徴でもある心臓。  
inochiのペイフォワードを体現する心臓型インスタレーション  
「inochi Equity Heart」を体験いただけます。

データの寄付というinochiのペイフォワード体験を通して、  
参加された方々のそれぞれの心拍データが「inochi Equity Heart」に  
集まり、その心臓を止まらぬよう鼓動させ続ける体験。

LASTWORDSに囲まれた会場で、Well-dying for Well-beingを感じながら  
あなた想いがinochiのペイフォワードの鼓動になります。



**データを寄付して、いのちを動かし続ける。**  
一人が心拍データをアプリ経由で寄付すると、10分間inochi Equity Heartの心拍が動き続ける。催事期間の中3日間(4,321分間)、絶え間なくデータを送り続けてinochi Equity Heartを鼓動させ続けよう。inochiのペイフォワードの取り組みを動かし続けて循環を生み出し続けるように、鼓動を止めるな。



**みんなの「らしさ」が拍動を強くする。**  
あなたの心拍数に応じて、inochi Equity Heartは同じBPMで拍動を刻む。大きないのちの循環の中で、寄付したあなたの個性が確かに輝く。その時に響く「ドクンドクン」という音。これは100人からサンプリングした心音がランダムに展示室内に響いている。個性溢れる多くの人によるコミュニティの力で成り立つ展示体験。

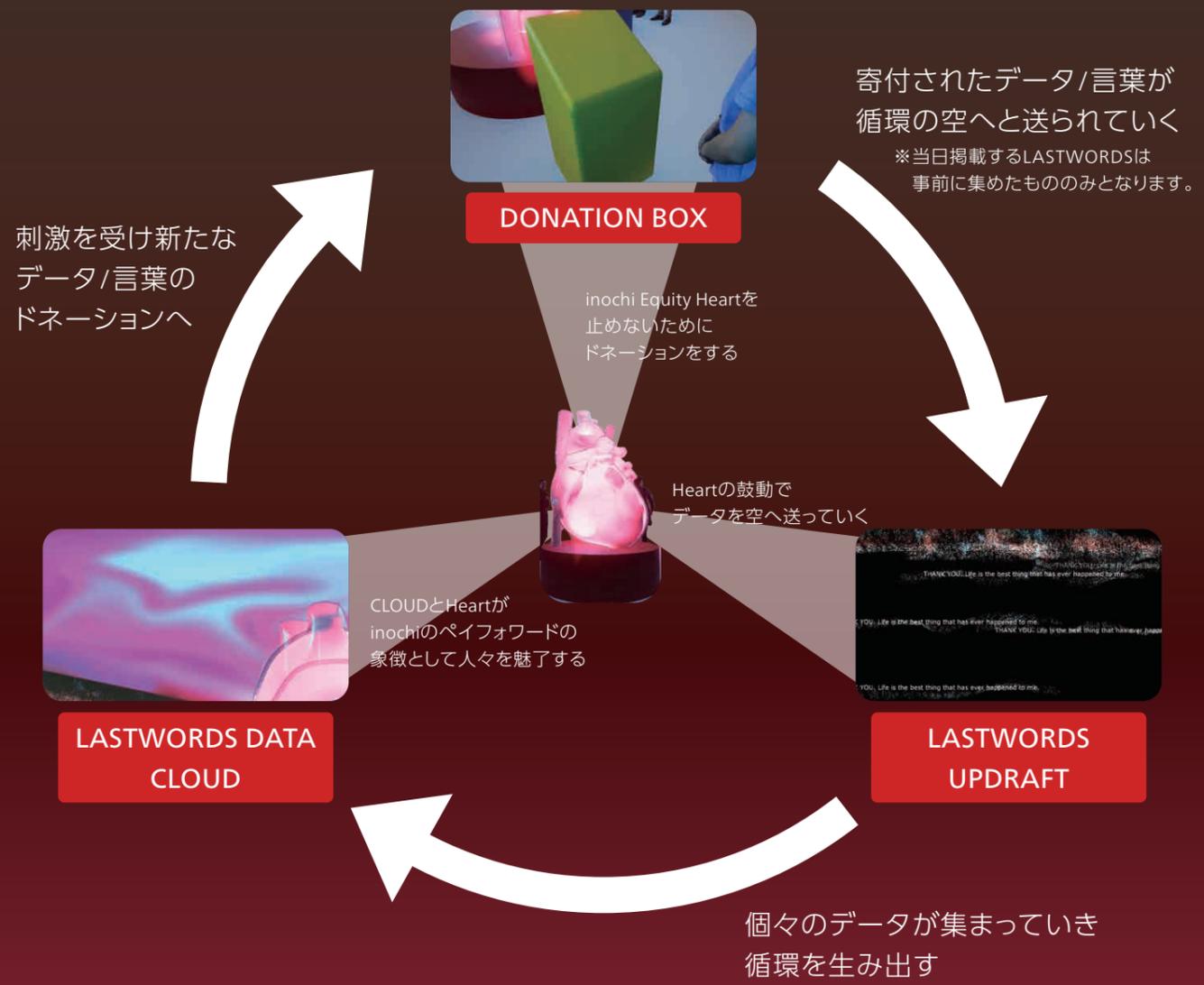


**万博で終わらない、循環を生み続ける仕掛け。**  
催事期間後、inochi Equity Heartを作り上げた半透明の樹脂素材を粉砕し、スノーードームの雪として再利用。病院の子供達にクリスマスに合わせてプレゼントし、いのちの循環を継続的に未来に繋げていく。  
また、今回データ寄付をしてくれた方々は継続的にアプリを介してinochiのペイフォワードの取り組みに参画していただきやすくなる。

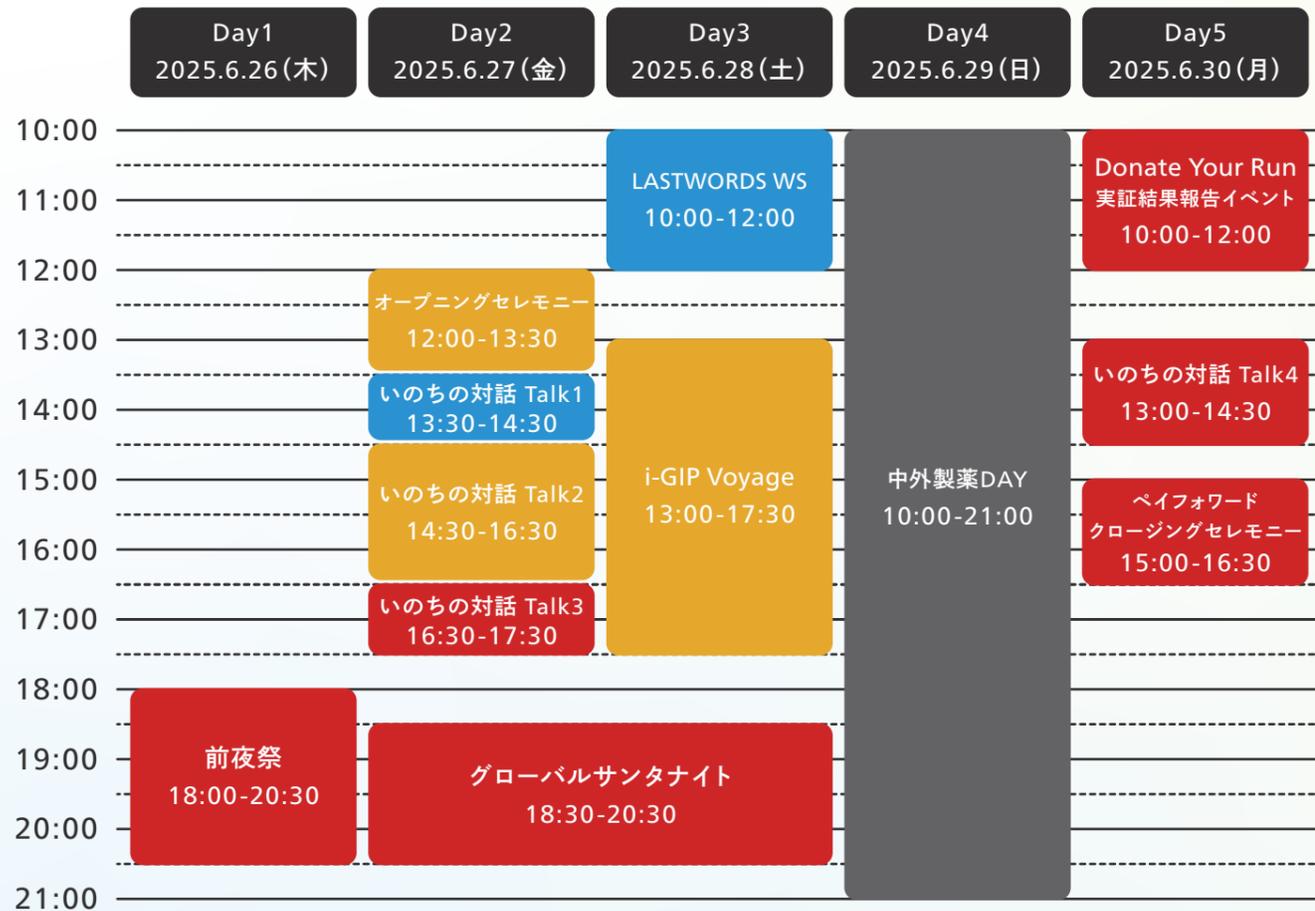
# Heart Driven Circulation Model 2025

inochiのペイフォワードによる循環モデルを、会場全体で感じる。

inochi Equity Heartを中心に、inochiのペイフォワードで実現する循環モデルを体感いただけるような展示会場。  
それぞれのヘルスデータや言葉がinochi Equity Heartの鼓動に支えられ上空に舞い上がり、天井のLASTWORDS DATA CLOUDにて互いに作用しあいながら支え合う、inochiのペイフォワードが描く循環の姿を表現します。



# イベント



6/26(木) Day1 18:00-20:30 循環 Circulate B → P

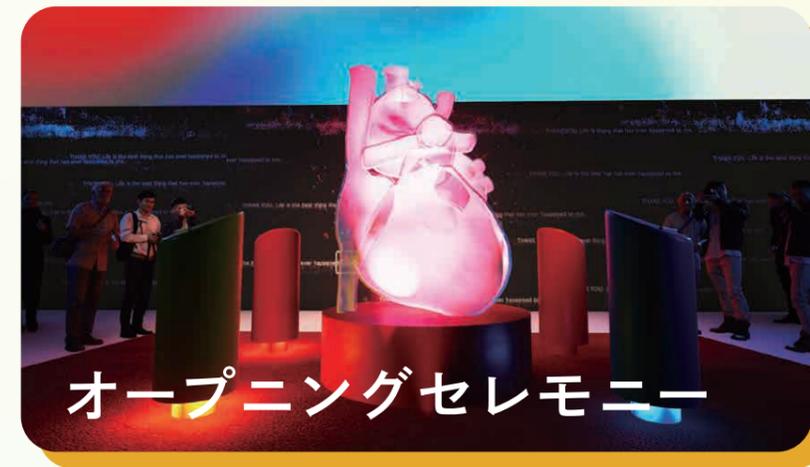


前夜祭

「めぐる恩、つなぐ未来」がコンセプトの空間で、若者のエネルギーが結集する前夜祭。

恩を可視化し、共有し、送ることで、自分のいのちの軌跡と未来へのつながりを実感する機会を得てもらい、「私たちのいのちは受け継がれ、未来へとつながるものである」ことを実感し、共に未来への一步を踏み出すことを感じる。

6/27(金) Day1 12:00-13:30 共有 Share B → B



オープニングセレモニー

## トピック

1. オープニング、本催事企画の趣旨説明
2. 各イベント/展示企画の説明
3. ご協賛社様からの応援メッセージ

inochiのペイフォワードを象徴する巨大な心臓が動き出す。皆の心拍が大きな一つの鼓動に。誰かのいのちを想う気持ちが、未来のいのちを輝かせる瞬間をぜひご覧ください。

オープニングセレモニーは、inochi Equity Heartにデータ寄付された心拍数を与え、鼓動を刻みだす力を与えるセレモニーです。

2メートルを超える巨大心臓inochi Equity Heartは、誰もがアプリを介して心拍データを寄付することで自分の心拍数に合わせて動かすことができ、提供された心拍数データは10分間、巨大心臓に力を与え、催事期間中、絶え間なく拍動をします。

オープニングセレモニーでは、その点灯式として、心臓血管外科医である澤芳樹理事長他豪華ゲストの心拍数のドネーションを行う点灯式を実施。そのドネーションを受けて巨大心臓が動き出します。

私たち一人ひとりのいのちが誰かのいのちを輝かせ、新たな共鳴を創り出す瞬間を感じていただける、inochiのペイフォワードWeekの幕開けにふさわしい感動のセレモニーです。

## 登壇者



澤 芳樹 先生

医療法人 警和会 大阪警察病院 病院長  
大阪大学大学院医学系研究科 名誉教授  
一般社団法人 inochi 未来プロジェクト 理事長



鈴木 寛 先生

東京大学公共政策大学院 教授  
慶應義塾大学 SFC 特任教授  
一般社団法人 inochi 未来プロジェクト 理事



トピック

1. インTRODクシヨン
2. 日本における死生観について
3. 自分の死とどのように向き合うか
4. クロージグ

自分の中でしっかりと向き合ったことのない死生観を真正面から考えて、共有する。共有することでさらに深く再考する。

自分の中でしっかりと向き合ったことのない死生観というものを真正面から考えて、共有する。共有することでさらに深く再考する。日本の死生観から多様な視点からとらえなおす。

登壇者

**鈴木 寛 先生**  
 東京大学公共政策大学院教授  
 慶應義塾大学 SFC特任教授  
 一般社団法人inochi未来プロジェクト理事

**澤 芳樹 先生**  
 医療法人警和会 大阪警察病院病院長  
 大阪大学大学院医学系研究科名誉教授  
 一般社団法人inochi未来プロジェクト理事長

**松山 大耕 様**  
 妙心寺退蔵院 副住職

**紫舟 様**  
 書家  
 芸術家  
 大阪芸術大学教授



トピック

1. 人類のこれまでと、これから。
2. 自分とは、わたしたちは何者か。

人類のこれまでと、これから。自分とは、わたしたちは何者か。

医療技術やAIの進化により、「いのち」の捉え方が大きく変わろうとしています。このセッションでは、最先端の医療とテクノロジーに携わるトップランナーたちが集い、人類のこれまでとこれからを見つめ直し、「わたしたちは何者か」という根源的な問いに挑みます。

過去から未来への時間の流れを体験しながら、参加者一人ひとりが「自分自身の未来」「未来社会への貢献」を想像するきっかけとなる対話と共創のセッションです。

登壇者

**鈴木 寛 先生**  
 東京大学公共政策大学院教授  
 慶應義塾大学 SFC特任教授  
 一般社団法人inochi未来プロジェクト理事

**澤 芳樹 先生**  
 医療法人警和会 大阪警察病院病院長  
 大阪大学大学院医学系研究科名誉教授  
 一般社団法人inochi未来プロジェクト理事長

**石黒 浩 先生**  
 大阪大学教授(栄誉教授)  
 基礎工学研究科システム創成専攻ATR  
 客員所長(ATRフェロー)  
 石黒浩特別研究所・EXPO2025テーマ  
 事業プロデューサー

**八木 雅和 先生**  
 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授  
 光産業創成大学院大学 非常勤客員教授  
 (一社)臨床医工情報学コンソーシアム関西  
 上席研究員  
 ジャパンバイオデザインプログラムディレクター

**池野 文昭 先生**  
 Program Director (U.S) Japan Biodesign,  
 Stanford biodesign Program,  
 Stanford University Chief Medical Officer,  
 MedVenture Partners, Inc



トピック

1. 若者の宣言(LASTWORDS)
2. ディスカッション
3. Q&A

### 若者たちの若者たちによる若者たちのためのセッション。

未来社会を担う当事者(=若者)として、自分がどのように生きていきたいのかを再考し、同じ社会を生き、作っていく仲間との対話の中でその情熱を再認識する。

登壇者



**田中 快 様**  
i-GIP KANSAI  
灘高等学校2年



**岡本 真子 様**  
岡山芳泉高等学校2年



**岡部 海斗 様**  
国際基督教大学高等学校2年

**清水奈々 様**  
i-GIP KANSAI  
暁高等学校3年



登壇者

- |         |         |
|---------|---------|
| 竹原 優 様  | 諸田 大知 様 |
| 藤本 堆誠 様 | 吉松 和 様  |
| 岩本 茉歩 様 | 甲斐 響大 様 |
| 宮平 怜奈 様 | 赤澤 侑香 様 |
| 大西 健斗 様 | 山田 蓮 様  |

謙虚にがめつく

幸せな人生だった!

会えてよかった!

あなたと美味しい  
ごはんが食べたい

いのちって不平等だ。  
そしてわたしたちの日常に死は潜んでいる。  
人生の終わりから問うことで、  
自分たちに与えられたいのちをどう生きるのか、  
どういきたいのかを問うワークショップ。

死から人生を考えることで、自分が本当に大切にしている価値観に気づく。本当に生きたい自分の人生は何なのか、どう生きるのかを問い、考える。

これからのあなたも  
きっと大丈夫

悔いのない最高の  
人生だった、ありがとう



- #本当に大切なものに気づく
- #わたしたちはどう生きるのか
- #死生観をアップデートする

WAKAZO LASTWORDSは、人生最期の言葉LASTWORDSを考えることを通して、いのちに向き合い、死生観を共有し、そしてその言葉を誰かに伝えるプロジェクトです。

災害、戦争、病。最期は突然に訪れる。

だからこそ今、1日1日をよりよく生きていけるように、人生最期の言葉を考えませんか?

#### LASTWORDS Digital Archive

いのちを灯す灯火を、絶やさぬように、  
私たちはLASTWORDSをデジタル空間に遺します。  
ウェブサイト上で、誰かが私たちに遺した言葉に触れ、私たち自身の  
いのちを輝かせませんか?  
あなたの心に火を灯す、LASTWORDSへの出会いがここにあります。

人生最期に遺したい言葉は  
なんですか?



<https://lastwords-portal.web.app>



登壇者

中島 花音 様、加室 翔子 様、  
青木 梨衣奈 様、森 暖花 様、  
山田 達也 様、山木戸 沙凪 様、  
橋本 晃貴 様、高橋 千帆美 様

トピック

1. 当事者との対談
2. 登壇者によるプレゼン
3. BonBon(株)による展示

体感!中高生によるヘルスケア課題解決!

実際にヘルスケア課題解決のアイデアを社会実装まで進めている行っている8組の有志メンバーが発表を行います。実際に各課題の当事者をゲストとしてお呼びし、直接お話を聞くことで、来場者にも課題解決のプロセスを体験できるようなセッションとなっております。発表する8チームは、過去のi-GIPに参加してくれた中高生・運営メンバーから、選抜を経て選ばれました。

登壇チーム



待ってる間に健康になろう!  
体験展示コーナー

当日は健康に関わる2つの展示・企画をご用意しております。

メディカルゲームセンター  
遊びながら楽しく健康な体を目指そう!



受験期にも十分な身体活動量を



i-GIP : inochi Gakusei Innovators' Program



中高生によるヘルスケア課題解決策創出プログラム。  
約半年にわたり、2~4人から成るチームが  
1つのヘルスケア課題解決に向けて取り組む。



登壇者

おおさかチルドレンズクワイアカラフル様、  
大阪チャチャチャバンド様、  
舞鶴子どもコーラス様、  
ポララミン様

トピック

1. 「ペイフォワードの木」の展示
2. 光と希望を届ける音楽フェスの開催

病気と闘う子どもたちに心の動かされる体験を。

病気と闘う子どもたちが、色んな世界や可能性を感じてワクワクできる体験をつくります。当日のイベントは、そんな子どもたちを応援したいという強い想いを持つ方々による音楽のセッションです。これまで小児医療にあまり関心がなかった方にも病気と闘っている子どもたちの存在を知ってもらい、支え合いの輪を広げることも目的としています。

6/27(金) Day2

6/28(土) Day3

	6/27(金) Day2	6/28(土) Day3
第一部	合唱 おおさかチルドレンズクワイアカラフル	合唱 舞鶴子どもコーラス
第二部	楽器演奏 大阪チャチャチャバンド	楽器演奏 ポララミン ～関西医科学生吹奏楽団～

- おおさかチルドレンズクワイアカラフル**  
所属する子どもたち自身が中心となって企画・運営をしている団体。チャイルドケモハウスでの演奏会も開催しており、病気と闘う子どもたちに向けたオリジナル曲も展開。
- 大阪チャチャチャバンド**  
障がいをもった仲間とミュージシャンが奏でるハーモニー。多様な楽器を用いる無国籍で自由な、楽しい表現活動をするパフォーミングミュージックグループ。
- 舞鶴子どもコーラス**  
歌や音楽が好きなおもたちに加え、不登校や発達や身体に障害を抱える子どもたちが所属する。どんな子どもたちにとっても居場所となることを目指している団体。
- ポララミン ～関西医科学生吹奏楽団～**  
関西医科学生吹奏楽団に所属する医療系学生によるアンサンブル演奏。病気と闘う子どもたちにエールを送りたい、一緒に頑張りたいという未来の医療従事者からのメッセージ。



トピック

1. 「DONATE YOUR RUN」実証実験の結果報告、inochiのペイフォワードの実現に向けて見えてきたこと
2. 繋がる社会がつくる未来のスポーツ科学—市民データ活用によって広がるスポーツDXの展望
3. データドネーションで実現するスポーツDX—市民参加が導く次世代のイノベーション

第3部トピック

トピック1：まずは知ろう！トップアスリートとスポーツアナリストのデータ活用  
 トピック2：今日からあなたもスポーツデータドネーションをしたくなる、最先端スポーツデータ活用アプリの紹介  
 トピック3：データドネーションが進めば、もっとこんなことができるのではないかな？  
 大阪・関西万博2025から予見する未来のスポーツの姿

## ヘルスケアデータの利活用から考える「未来のスポーツの姿」

これまでWAKAZOのプロジェクトの1つ、Life Data Donationの活動の一環として取り組んだSANTA PARADE OSAKA 2024での実証実験の結果報告を通し、私たちの考えるinochiのペイフォワードの実現に向けて見えてきたことを報告いたします。  
 報告後、大阪大学教授の中田研先生より「市民データ活用によって広がるスポーツDXの展望」についてご講演いただきます。第1部・第2部をふまえ、スポーツDXに関するトピックについて多数の有識者を交えてパネルディスカッションを行います。  
 本催事を通し、inochiのペイフォワード実現への大きな一歩として、皆さまとこの場で想いを重ねられることを心より楽しみにしております。

登壇者

**中田 研 先生**  
 大阪大学大学教授

**朝原 宣治 様**



**豊田 隼大 様**  
 株式会社富士通ローンチパッド  
 Growin マネージャー



**渡辺 啓太 様**  
 國學院大学 人間開発学部健康体育学科  
 准教授  
 日本スポーツアナリスト協会 代表理事



**松本 琉花 様**  
 WAKAZO  
 福井大学工学部物質・生命化学科



トピック

1. 倫理と技術の融合、未来のinochiのペイフォワードの形とは
2. 人間中心を超えた“いのち”のためにデータをどう活かすか

## データの共有と活動がもたらす医療の進歩と倫理的課題のギャップを我々はどう乗り越えていくのか。

我々が掲げる「ヘルスケアデータの献血制度」の実現に向けて、未来のヘルスケアデータ連携を提案する。

登壇者



**鈴木 寛 先生**  
 東京大学公共政策大学院教授  
 慶應義塾大学 SFC特任教授  
 一般社団法人inochi未来プロジェクト理事

**福田 真嗣 様**  
 株式会社メタジェン 代表取締役社長CEO  
 / 慶應義塾大学先端生命科学研究所  
 特任教授



**本嶋孔 太郎 様**  
 一般社団法人日本DAO協会  
 /co-founder、共創DAO/co-founder、  
 RULEMAKERS DAO/co-founder、  
 AiHUB株式会社/CLO兼弁護士



**成 仁 脩 様**  
 WAKAZO2025代表  
 inochiのペイフォワードWeek  
 共同プロデューサー



**トピック**

1. オープニング
2. inochiのペイフォワードWeekのまとめ
3. 中之島QROSS紹介
4. パネルディスカッション
5. 写真撮影

## WAKAZOが活動を通して描く未来とは? inochiのペイフォワードを紐解く。

10年に渡って万博に向けて活動してきたinochi未来プロジェクト・WAKAZOのこれまでの活動とinochiのペイフォワードWeekのこれまでを総括します。同じ若者という立場で携わってこられた佐久間 洋司様をゲストにお迎えし、万博に向けて出来たこと・出来なかったこととお伺いし、今まで紡いできたそれぞれの考えるヒューマンレガシーを共有していただきます。また、後半には、万博後にWAKAZOが向かっていく姿として「WAKAZOゼロ」を発表し、メンバーから活動のアイデアを発信します。

**登壇者**



**澤 芳樹 先生**  
医療法人警和会 大阪警察病院病院長  
大阪大学大学院医学系研究科名誉教授  
一般社団法人inochi未来プロジェクト理事長



**鈴木 寛 先生**  
東京大学公共政策大学院教授  
慶應義塾大学SFC特任教授  
一般社団法人inochi 未来プロジェクト理事



**佐久間 洋司 様**  
2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 ディレクター  
世界経済フォーラム シェイプニューワールドイニシアティブ 代表



**寺本 将行 様**  
Northwestern University Feinberg School of Medicine  
一般社団法人inochi未来プロジェクト理事

# 協賛・後援一覧

inochiのペイフォワードWeekを開催するにあたり、多くの方々にご支援いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

**Premium Sponsor**



**Gold Sponsor**



**Donation Partner**



**i-GIP Partner**



**Standard Sponsor**

今日と未来を、つなぐ。



**Support Sponsor**



**Friends Sponsor**



- 後 援 公益社団法人関西経済連合会 大阪商工会議所  
 助成金 公益財団法人公益推進協会「For Children基金」(Global Santa Night)  
 協 力 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク

# 一般社団法人inochi未来プロジェクト

みんなでinochiの大切さと未来について考え、行動するプロジェクト。  
医療者、企業、行政そして市民と患者も。  
関西・日本が、みんなで支え合いながら、  
健康で長生きできる街・国になることを目指します。



いのち輝く未来社会の実現を、皆さまとともに。

## 目指すゴールと活動内容

### 1. 人材育成 inochiの“ひとづくり”

- ◆世界の課題と向き合い、知恵を出し合う若い人材の育成。
- ◆若者自らが計画を立て、主体的な学びを行うきっかけづくり。
- ◆各領域の専門家と若者を相互につなぐネットワークづくり。



### 2. イノベーション inochiの“ものづくり”

- ◆イノベーション・エコシステムを創発するための提言。
- ◆医療・ヘルスケア産業の振興に関する提言。
- ◆産学官民の垣根を超えた議論のための場づくり。

### 3. 未来の都市モデル inochiの“まちづくり”

- ◆「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するための提言。
- ◆スマートシティやスーパーシティ等新しいまちづくりに対する提言。
- ◆市民一人ひとりが死生観を考えるための啓発。



私たちは、2014年の社団設立時より、  
inochiの万博開催に向けて、活動を続けてきました。

- ◆「202×年、inochiの万博を、関西で」をテーマに活動を開始(2014年)
- ◆『2025大阪万博誘致若者100の提言書』を大阪府松井知事に提出(2016年)
- ◆BIE総会で日本代表団の一員としてWAKAZOメンバーが招致プレゼン(2018年)

次世代の医療・ヘルスケア領域の  
リーダーを育てる。  
この活動を今後も続けていくために、  
皆さまのお力が必要です。

#### i-GIP サポーター

支援額 ¥15,000 までのご用意です。

RETURN ささやかな御礼  
私達の活動・取り組みについてメールで  
お知らせいたします。  
御礼のお手紙を送付いたします。

#### i-GIP 特別サポーター

支援額 ¥30,000 までのご用意です。

RETURN ささやかな御礼  
私達の活動・取り組みについてメールで  
お知らせいたします。  
御礼のお手紙を送付いたします。  
i-GIPの活動をまとめた特製アルバムを作成いたします。



ご支援いただける皆さまへ

左のQRコード (<https://inochi-wakazo.org/support>) より、「Support us」ページにアクセスしていただき、  
各種クレジットカード・銀行振り込みに対応しております。  
ご希望の支援制度をご選択いただき、決済に進んでください。  
記入内容に不足がある場合には適切な御礼が送れない場合がございますので、  
注意事項をよくご覧の上、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。  
個人情報、当団体プライバシーポリシーに従い適切に管理します。

お問い合わせ先

一般社団法人 inochi 未来プロジェクト



✉ info@inochi-wakazo.org

☎ <https://inochi-wakazo.org>



澤 芳樹

大阪大学大学院医学系研究科  
名誉教授

医療者・企業・行政そして市民と患者も。  
関西・日本が、みんなでささえあいながら、  
健康で長生きできる街・国になることをめざす一般社団法人です。  
理事長の澤芳樹をはじめとする10人の理事で構成されています。  
また、学生支部「inochi WAKAZO Project」とも連携し、  
多くの世代を巻き込んだ活動を行っています。